

受付番号

37

許可番号

大歯医倫 第 111064 号

研究課題名

グルタミン酸誘導体ナールスゲン含有マウスジェルの臨床的有用性の検証

研究責任者

永久 景那

申請者

永久 景那

研究終了日

2022 年 3 月 31 日

所属

口腔リハビリテーション科

所属

口腔リハビリテーション科

職名

助教

職名

助教

申請の概要

本研究では、グルタミン酸誘導体ナールスゲン*含有マウスジェル（以下、NS マウスジェルと記す。）の保湿効果の現状把握、および口腔粘膜の炎症（口内炎など）や創傷、または口腔粘膜組織の損傷に対する治癒促進効果、および口腔乾燥や唾液分泌量の低下、嚥下困難感の改善に対する有効性の検証を目的とする。研究対象者は、本学附属病院口腔リハビリテーション科と医療法人若弘会わかくさ竜間リハビリテーション病院の満 20 歳以上の患者、および大阪府大東市在中の満 65 歳以上の高齢者において、口腔粘膜の炎症や創傷がある者、口腔粘膜組織の損傷がある者、口腔乾燥または唾液分泌量の低下や嚥下困難感を認める者とする。研究対象者に対して NS マウスジェルを提供し、口腔内状態を経時的に（NS マウスジェルの使用前、使用后 2～3 日後、7 日後、14 日後、または初期症状が改善された時点で）評価する。評価項目は、口腔粘膜の炎症症状、口腔乾燥状態、嚥下機能とする。本研究により、NS マウスジェルの臨床レベルでの有効性が学術的に示された場合、多くのがん患者や要介護高齢者、重症心身障害児者における口腔疾患および全身疾患の予防が期待され、さらには生活の質の向上（QOL の向上）へとつながり、社会的貢献度も高いものと期待される。

なお、本研究は株式会社ニッシンからの受託研究であり、本研究に使用される NS マウスジェルは、株式会社ニッシン（製造元：NS コーポレーション株式会社）からの提供を受ける。研究実施のすべては、本学附属病院口腔リハビリテーション科が担う。

*グルタミン酸誘導体ナールスゲンは、GGT 阻害剤（グルタチオン分解酵素阻害剤）としても知られており、細胞の形態維持に必要なコラーゲンやエラスチンの産生を誘導することが実証されている。グルタチオンは、口内炎やドライマウス、顎関節症の改善、および口腔がんの治療・予防などの目的で使用されている。